



千曲市人権教育DVDライブラリー

2019年度現在
利用頻度の高いもの・比較的新しいもの

No.			
1		あなたに伝えたいこと (DVD)(H27製作)	上映時間:36分 同和問題(更埴)
		同和問題は、地域改善対策の結果、生活環境などハード面の改善は進んだが、結婚差別や身元調査など、意識の面では依然として課題が残されている。また、インターネットには、利便性とともに差別的な書き込みやネット依存など陰の部分もある。 この物語の主人公は、結婚話を発端に、恋人や友人、家族などとの関わりから、同和問題が身近な問題であることを知る。ネット上の情報に左右されることなく人とふれあい、お互いを正しく知ることが、同和問題やすべての差別をなくしていくために重要であることを、明るく希望とともに伝える。	
2		認知症と向き合う (DVD)(H28製作)	上映時間:30分 高齢者(更埴)
		認知症の文乃は夫と死別後、娘夫婦や孫娘と同居することになる。しかし、ひどい物忘れや徘徊、家族への暴言・暴力といった症状を現す文乃に家族は振り回され、ばらばらになってしまう。 この作品は、認知症によくみられる症状、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さを描いています。認知症の人もその周囲の人も、よりよく生きていけるように認知症について正しい知識をもち、認知症の視点に立って認知症への理解を深めていきましょう。	
3		光射す空へ (DVDアニメ)(H28製作)	上映時間:32分 解説14分 人権全般(更埴)
		この映画では、大学生たちの悩みと学びを通して、若年性認知症、同和問題、LGBTといった様々な人権問題に焦点を当て、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えていく作品です。	
4		ここから歩き始める (DVD)(H27製作)	上映時間:34分 高齢者(更埴)
		商事会社の課長・岩崎信介のもとに、姉・早苗から一人暮らしをしている父・功一が倒れたという電話が入る。病院で、功一は認知症と診断される。信介が功一を自宅に引き取る。信介の妻・恵子は急なことで戸惑う。ある日、功一がいなくなる。 この作品は「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護を巡る葛藤ときずなの紡ぎなおしを通して高齢者問題について考えるきっかけとなります。	
5		今日もよか天気たい (DVD)(H26製作)	上映時間:35分 障害者(更埴)
		ある日、京子とたまたま同じバスに乗り合わせた乗客は、京子の存在や京子のとる行動によって、自分の心の中にある偏見や差別に気づいていきます。さらに、多くの人から支えられてきた京子自身もまた人の役に立つことで生き甲斐を見つけています。 この物語は、視覚障がいのある一人の女性“京子”を通して、周りの人が「人権」の大切さに気づいていくストーリー展開になっています。	
6		ほんとの空 (DVD)(H24製作)	上映時間:36分 人権全般(更埴)
		高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これらに共通する根っこ部分は、誤った考え方や思い込み、偏見という意識である。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解している。誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちが我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることでとらえ、日常の行動につなげていくように訴える。	

7		クリームパン (DVD) (H22製作)	上映時間: 36分 子ども(更埴)
<p>このドラマでは、人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に描いています。虐待やいじめなど、人を傷つけ、いのちを奪うものも「人」ならば、死にひんしている人のいのちを救うのもまた「人」なのです。人と人とがふれあい、心を通わせることで救えるいのちがあります。</p> <p>子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、「いのち」についてあらためて自分の問題として考えることをもくてきとしています。</p>			
8		こころに咲く花 (DVD) (H19製作)	上映時間: 35分 子ども・パワハラ(更埴)
<p>一人ひとりが自らの意識を再点検し、日頃の言動を振り返ることで、「いじめの心」はだれの内面にも潜んでおり、いじめの問題は他人事ではなく「自分自身」の問題であることを自覚する。子どものいじめの実態と、職場でのいじめ・パワハラ、また、日常生活の中でのいじめの現状を知り、それぞれの原因や背景を認識する。いじめを解決するために、傍観者から脱して一歩を踏み出し、勇気を持って声を発するなど、他人や社会への積極的な関わりを持つ生き方を考える。</p>			
9		老いを生きる (DVD) (H19製作)	上映時間: 35分 高齢者(更埴)
<p>認知症の三浦富江は徘徊癖があり家族を困らせていた。ある日、徘徊の途中おしっこを漏らし息子の嫁・貴子に叱られ、交番の前をうろうろしているところを保護される。巡査はそのとき、腕にあるアザを見逃さなかった。家族の会に出席した貴子は、吉岡紀子から高校生の孫娘が介護の手助けをしてくれたことを聞き、この問題は、家族ぐるみで取り組むことが大切だということを知る。同じく一緒に出席した夫の洋一は、日ごろは自分の親を貴子にまかせて、好きな魚釣りや仕事にかこつけ、貴子に大きな負担をかけていたことに気づく。貴子もまた、高齢社会の中、悩みを持っているのは自分だけではないことを知り、心に変化が出てくる。</p>			
10		高齢者虐待 ～尊厳を奪わないために～ (DVD) (H23製作)	上映時間: 26分 高齢者(更埴)
<p>虐待は粗暴な親・家族が行うものとは限らない。愛情の押しつけ、執着が一線を越えたとき、虐待は始まる…。</p> <p>実例を基にした3つのドラマ(事例1: 介護サービスを受け入れない、事例2: 虐待の自覚がない、事例3: 要介護状態を受け入れない)をもとに高齢者の介護の問題点と虐待を防ぐ対応法を分かりやすく紹介しています。</p>			
11		桃香の自由帳 (DVD) (H23製作)	上映時間: 36分 身近な人権(更埴)
<p>地域の人たちと触れ合っていく小学生2年生の桃香と、娘を見守る両親の姿を描きながらもすれば見失いがちな、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけています。このドラマは、劇的な事件は描かず、どの地域でも起こりうる出来事について光を当てています。日常の何気ない言動を振り返ることで、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とはなにかについて語りかけます。</p>			
12		日常の人権 I 女性・子ども・高齢者 (DVD) (H23製作)	上映時間: 23分 人権全般(更埴)
<p>日常の人権 I では女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権を日常生活に潜むさまざまな角度から考えることのできる作品です。日頃の人権感覚を見直すことに、いいヒントがたくさんあります。ここには3つの内容がありますので必要に応じてその内容だけ観賞する利用法もあります。</p>			

13		<p align="center">日常の人権Ⅱ 外国人・障害者・部落差別・インターネット被害 (DVD) (H23製作)</p>	<p align="center">上映時間: 23分 人権全般(更埴)</p>
<p>日常の人権Ⅱでは外国人の人権・障害者の人権・部落差別の問題・インターネット被害の問題を日常生活に潜むさまざまな角度から考えることのできる作品です。日頃の人権感覚を見直すことに、いいヒントがたくさんあります。ここには4つの内容がありますので必要に応じてその内容だけ観賞する利用法もあります。</p>			
14		<p align="center">あの空の向こうに (DVD) (H23製作)</p>	<p align="center">上映時間: 38分 子ども・インターネット(更埴)</p>
<p>私たちが普段何気なく使っているケータイやインターネットがある日突然「凶器」に変わってしまう。ケータイやインターネットによる人権侵害は、いつ、だれの身に起きても不思議ではない深刻な問題です。誰もが被害者に、そして加害者にもなり得るのです。インターネット等の利用にあたっての人権問題・人権感覚の重要性や人と人とのふれ合い・語り合いの大切さを訴え、こころ豊かなコミュニケーション社会をめざしています。</p>			
15		<p align="center">風の匂い (DVD) (H28製作)</p>	<p align="center">上映時間: 34分 障がい者(更埴)</p>
<p>スーパーマーケットで働く青年、歩と正人が主人公です。歩には知的障害がありますが、子どもの頃は共に遊び、共に学ぶ「大切な友だち」でした。しかし、大人になった二人を隔てる健常者と障害者という壁。その壁を作っているのは誰なのか。二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある「合理的配慮」についても触れ、見る方々が自分自身の問題として考えるきっかけとなるドラマ教材です。</p>			
16		<p align="center">めぐみ (DVDアニメ)(H20製作)</p>	<p align="center">上映時間: 25分 拉致問題(更埴)</p>
<p>北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。このアニメは、漫画「めぐみ」(原作・監修:横田滋・早紀江、作画:本そういち、出版社:双葉社)をモチーフとして制作しました。制作に当たっては、日本俳優連合の多大なご協力をいただき、また、声優の方々もボランティアで出演してくださっています。</p>			
17		<p align="center">外国人と人権 (DVD) (H28製作)</p>	<p align="center">上映時間: 33分 外国人(更埴)</p>
<p>外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にす人権尊重の社会をつくりあげるために何が出来るかをかんがえるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているかを学びます。解説は、お茶の水女子大学名誉教授の宮島喬先生を迎え、偏見や差別を乗り越え多文化共生社会を築くために私たちに何が出来るかを考える。</p>			
18		<p align="center">同和問題 (DVD) (H26製作)</p>	<p align="center">上映時間 (啓発担当者向け61分・一般向け19分) 同和問題(更埴)</p>
<p>我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、一般市民を対象とした、啓発現場においても使用できる有効なツールとしての映像も併せて制作し、同和問題の解決のために次世代へ伝承するものです。</p>			
19		<p align="center">アンダンテ～稲の旋律 (DVD) (H24製作)</p>	<p align="center">上映時間: 107分 一般人権(更埴) ※会の運営に配慮必要</p>
<p>主人公「薮崎千華」は、母の強い希望で幼い頃から音楽の道を歩むが、音楽社会の道は競争は厳しく次第に自信を無くしていく。やがて自分自身も見失い不登校となり、大学中退を余儀なくされる。アルバイト生活に入るが、職場での人間関係がうまく作れず、仕事を転々とする生活を繰り返してしまう。そんな自分を思いつめた千華は千葉県の水田に「誰か私を助けてください。」と書いた紙切れをペットボトルに詰めて置いてくる。紙切れを拾った水田の持ち主である広瀬晋平から手紙が届く。ここから千華と晋平の交流が始まる。</p>			

 <p>18</p>	<p>あした咲く (DVD) (H29製作)</p>	<p>上映時間:36分 女性(更埴)</p>
<p>この作品には、生き方の異なる姉妹が登場します。独身会社員の妹・茜と、専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や、父との対話、そして地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろん全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かせることのできる、多様性尊重社会。その実現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。</p>		
 <p>19</p>	<p>いのちに寄り添う (DVD) (H29製作)</p>	<p>上映時間:35分 高齢者(更埴)</p>
<p>「親父をうちで引き取る？それは無理だろう。施設かなあ」「え？がん？それは大変だ。仕事なんかいいから。病人なんだから。君がいなくても大丈夫だよ」もしも、あなたの身近な人が、重い病になったとしたら？ このビデオでは二組の「いのちに寄り添う」人々に密着取材。2人に1人が、がんになる時代。どんな風に生きて、どんな風に最後を迎えるのか。現代に生きる全ての人々が学ばべき、命の教材です。</p>		